

『進むデジタル化 高齢者の課題』

近年は色々な物事がデジタル化されてきている。飲食店では、メニューや注文がタブレットになっていたり、注文した料理を運ぶのがロボットになっていたりする。デジタル化することで、人件費の削減や人手不足の解消、多言語対応が可能といった店側だけでなく、自分のペースで注文できるなど、顧客側も多くのメリットがある。

しかし、デジタル機器に慣れていない高齢者などにとっては、負担感が増すことにもなるのではないか。実際に私の祖母は、セルフレジの使い方が分からず、買い物に行くのが嫌になると言っていた。高齢者以外でも、デジタル機器を利用できる人、できない人の間でデジタル格差が生まれてしまうだろう。

デジタル化の進展は、便利なことも多いが、このような課題も多くあると思う。課題を解決し、多くの人が快適に過ごせる社会になってほしい。

3年生 M・A （2025. 6. 14 朝日新聞）